資料No.1

伊豆の国市地域公共交通基本計画における具体的な方策の取組実績等

基本方針	具体的な方策		具体的な取組内容	取組の実績（平成26年度～令和5年度）	実施の主体			次期計画への反映の必要度		必要度の理由（計画反映時の留意事項等）
					行政	事業者	市民等	高	低	
子どもの安全・安心の確保と子育てを支える公共交通	1-1	遠距離通学の児童・生徒の安全性確保	・安全な乗降場所の確保とバス停環境整備の支援	・バス停「大仁小学校前」のバス乗降専用レーン、上屋、待合ベンチの設置	○			✔		改善が必要なバス停の利用実態やニーズ把握を要する。
			・バスの乗り方教室の実施	・市内6小学校低学年向けに平成24年度から継続して実施（延べ参加者1,888人）	○	○	○	✔		・児童等の交通安全意識の向上や啓発は特に重要である。
			・バス停の安全性確保対策が必要だと思われるバス停への対応	・安全確保が必要だと思われるバス停の移設等（市内17箇所に対して令和3年度に5箇所、令和4年度に2箇所、令和5年度に10箇所、計17箇所（全件）対応済み）	○	○		✔		・利用者の安全確保のため、継続した取組が必要である。
	1-2	スクールバスの導入及び活用の研究	・制度の研究及び教育部との協議	・教育部局とスクールバス導入に向けた協議を実施（～平成28年度）、「路線バスの活用を継続する」という結論に至った。	○				✔	・協議自体は継続し、改めて導入の可能性を検討する必要がある。
			・自主運行バスとの運行内容協議	・小中学校の登下校の時間に合わせたダイヤ改正の実施（随時）	○	○		✔		・現在も希望に応じて実施しており、継続した対応は必要である。
	2-1	遠距離通学の児童・生徒の保護者へのバス定期券の補助等	・小中学校遠距離通学費補助金（定期券代全額支給）	・遠距離通学児童を対象に路線バス定期券の購入支援を実施（平成28年度～継続中）	○				✔	・継続していくことが目的とならないよう記載には注意が必要である。
			・通学下校時の搬送支援（乗合タクシー運行）	・大仁小及び大仁北小学校児童への下校時の搬送支援（平成28年度～継続中）	○				✔	・継続していくことが目的とならないよう記載には注意が必要である。
			・市自主運行バス運行による移動手段の確保	・自主運行バス事業の継続的な実施。小中学校の登下校の時間に合わせたダイヤ改正の実施（適宜）	○			✔		・生活路線として継続すべきか、運行や利用の実態把握は必要である。
高齢者等の自由な移動を支える公共交通	3-1	高齢者の生活スタイルに合わせた公共交通網、ダイヤ等の見直し	・路線バス等へのパーク&ライドの実施（田原野バス停）	・田原野バス停へのパーク&ライドの整備（平成28年度実施）	○		○	✔		・実施場所の選定やその後の維持管理方法まで検討する必要がある。
			・先進地の調査及び研究	・先進地視察の実施。富士宮市（平成30年度）、愛知県豊明市（令和2年度）、岐阜県各務原市、長野県安曇野市（令和5年度）	○				✔	・先進地への視察や研究が目的とならないよう注意が必要である。
	4-1	福祉タクシー・バス・鉄道利用券の効果的な活用	・福祉タクシー等利用券の継続的な交付による高齢者の社会参加支援	・福祉タクシー券の継続的な実施（平成20年度～継続的）	○	○		✔		・費用対効果の検証方法等をどこまで明記するか検討する必要がある。
			・タクシー・バス・鉄道利用券の交付による公共交通利用促進	・期間を定めたバス鉄道利用券の追加交付の実施（平成29年度～令和元年度）	○	○			✔	・実施済の事業であるため。
	4-2	高齢者デマンド交通等の導入	・新たな公共交通の構築に向けた検討	・制度設計のための調査研究の実施（平成26年度～継続中）	○				✔	・調査研究が目的とならないよう注意が必要である。
			・先進地の調査及び研究	・先進地視察の実施。富士宮市（平成30年度）、愛知県豊明市（令和2年度）、岐阜県各務原市、長野県安曇野市（令和5年度）	○		○		✔	・先進地への視察が目的とならないよう注意が必要である。
			・山間地域の予約型乗合タクシー制度導入及び検討	・立花台、星和地区／星の花号（平成29年度）、立花地区／立花Go！（令和2年度）への導入	○	○	○	✔		・他交通不便地域へ導入しやすくするための記載方法を検討する。
来訪者への情報提供と利便性の高い公共交通	5-1	バス停がプロットされた観光マップ、運行ダイヤ、料金の掲載	・公共交通が明記された観光ルートマップの作成	・歴バスのる～らのパンフレットの作成（平成27年度）	○	○		✔		・パンフレットに限らず、利用者が見やすく分かりやすい情報発信が必要である。
			・市HPの充実（市内の公共交通の紹介）	・市の取組等を紹介したホームページの作成及び更新（随時）	○			✔		・HPに限らず、利用者が見やすく分かりやすい情報発信が必要である。
			・観光部署や大型観光企画との施策連携	・静岡DC／デスティネーションキャンペーン静岡版との連携による事業の実施（平成元年度）	○	○	○		✔	・実施済の事業であるため。現状で再実施の計画はない。
	6-1	観光を意識したバスルート（観光ルート）	・観光周遊型韮山反射炉循環バスの運行	・大河ドラマ関連施設をふまえたバスルートや便数に変更し運行を実施（～令和4年度）	○	○			✔	・令和5年度中の廃止を予定しているため。
			・観光庁の補助金を活用した周遊バスの実証運行	・大河ドラマ館をふまえた運行内容で実証運行を実施（令和3年度、令和4年度）	○	○			✔	・実施済の事業であるため。現状で今後の具体的な計画はない。
			・乗車券を活用した寄り道特典事業の実施	・1日乗車券購入者への寄り道特典の実施（平成29年度）	○	○			✔	・行政と民間店舗等との協働事業であるが、今後の計画が明確ではないため。
			・歴バスのる～らラッピングバス実施	・ラッピングの実施（平成28年度）、観光庁補助金を活用した義時用ラッピングの実施（令和3年度）	○	○			✔	・実施済の事業であるため。
	6-2	親しみのあるバスネーミング	・観光周遊型韮山反射炉循環バスの愛称募集	・愛称募集及び最優秀愛称の決定「歴バスのる～ら」（平成28年度）	○	○			✔	・実施済の事業であるため。
			・てつざえんを活用した歴バスのる～らの啓発活動	・市広報誌への定期的な特集記事の掲載（直近では、令和元年度、令和4年度）	○	○			✔	・令和5年度中の廃止を予定しているため。
市民の日常生活の移動を確保する公共交通	7-1	バスの乗り方教室	・バスの乗り方教室の開催	・市内6小学校低学年向けに平成24年度から継続して実施（延べ参加者1,888人）	○	○	○	✔		・児童等の交通安全意識の向上や啓発は特に重要である。
			・職場体験教室（バスの車内アナウンス体験）実施	・市内小学校の児童を対象に実施（平成27年度）	○	○	○	✔		・事業の目的や必要性、小学校側のニーズ確認等を要する。
			・伊豆の国市高齢者学級での講演	・寿大学高齢者学級での実施（平成28年度）	○	○	○	✔		・事業の目的や必要性、小学校側のニーズ確認等を要する。
	7-2	利用者の視点にたったバス路線図、時刻表の作成	・バスだよりの配布（自主バス沿線地域）	・亀石峠線や千代田団地線沿線住民への配布（延べ5報）	○			✔		・沿線区民への周知は必要性が高いが、実施には計画的な作成が必要である。
			・公共交通マップの作成（改訂）及び配布	・くらしの公共交通まるごとマップの作成（平成30年度）及び改訂（令和4年度）	○	○		✔		・最新情報に更新し、適宜改訂して周知する必要がある。
	7-3	低床バス等の車両のバリアフリー化	・低床バス等の車両のバリアフリー化検討	・市内を走るバス車両へは全車両で導入済。		○			✔	・実施済の事業であるため。
			・地域へのモビリティ・マネジメント（心のバリアフリー化）を推進する勉強会及び意見交換会を実施	・検討のみで未実施。	○		○	✔		・誰もが利用できる、利用しやすい環境作りには必要な取組である。
	7-4	乗務員のもてなしの意識の醸成	・乗務員への研修会の開催（バス事業者）	（各バス事業者による独自実施。詳細実績は未調査）		○				・市としての取組や支援策等をどこまで記載できるか検討する必要がある。
			・輸送安全に関する社員研修及び講習会の開催（バス事業者）	（各バス事業者による独自実施。詳細実績は未調査）		○				・市としての取組や支援策等をどこまで記載できるか検討する必要がある。
	8-1	バス路線の再編	・亀石峠～大仁駅前・修善寺駅線の運行経路変更（田京駅経由）	・亀石峠線田京駅への延伸を実施（平成29年度）	○	○			✔	・実施済の事業であるため。路線再編や運行計画見直しは適宜検討すべき。
			・千代田団地～韮山駅線と韮山循環線の路線統合	・千代田団地～奈古谷温泉口線として路線を統合（平成30年度）	○	○			✔	・実施済の事業であるため。路線再編や運行計画見直しは適宜検討すべき。
			・市広報紙への掲載（特集）の実施	・定期的に特集記事を組み、周知や啓発を実施（令和元年度、令和4年度）	○	○	○	✔		・利用者促進のため、市民への定期的な周知啓発は重要な取組である。
	8-2	朝、夕の増便・昼間における適切なダイヤ	・地域との意見交換会実施	・公共交通に係る地区座談会を実施（令和5年度延べ5地区 参加者149人）	○		○	✔		・地域ニーズの把握のため、継続的な実施が必要である。
			・バス時刻表の見直し検討	・小中学校の登下校の時間に合わせたダイヤ改正の実施（随時）	○	○		✔		・現在も希望に応じて実施しており、継続した対応は必要である。
	9-1	駅前広場の整備（待合スペース、分かりやすいバスバースなど）	・伊豆長岡駅前広場の整備	・伊豆長岡駅前に「伊豆の国市観光案内所」が開設（平成27年度）	○				✔	・実施済の事業であるため。
			・待合スペース設置や分かりやすい案内版表示等の検討	・庁内での検討のみ	○			✔		・誰もが利用できる、利用しやすい環境づくりには必要な取組である。
	9-2	バス停の高機能化（バスロケーションシステム、防風ガラス付き待合室など）	・バスロケーションシステム等の支援検討	・各バス事業者で位置情報検索システム等を導入済		○		✔		・利用環境の向上には、システムの充実は必要な取組である。
			・上屋やベンチ等のあるバス停整備の支援検討	・庁内での検討のみ	○			✔		・誰もが利用できる、利用しやすい環境づくりには必要な取組である。
	10-1	鉄道とバスが接続できるダイヤの見直し（シームレス）	・鉄道の乗り換えに考慮したバス運行時刻の見直し（随時）	・小中学校の登下校の時間にも考慮したダイヤ改正の実施（随時）	○	○		✔		・利用環境の向上には、定期的に見直し関係機関と協議する必要がある。
市民・交通事業者・行政の協働による公共交通の育成・支援	11-1	立花台区及び星和区の取組みへの支援	・星和立花台、立花の予約型乗合タクシー実証運行実施	・地域との協議を経て、実証運行を実施（結果：両地区とも本格運行の開始条件を達成）	○	○	○		✔	・他交通不便地域へ導入しやすくするための記載方法を検討する。
			・星和立花台、立花の予約型乗合タクシー本格運行実施	・実証実行の結果により本格運行を実施（星和立花台 平成29年度、立花 令和4年度）	○	○	○		✔	・他交通不便地域へ導入しやすくするための記載方法を検討する。
			・他地域への予約型乗合タクシー制度の説明会実施	・希望のあった地域への説明会や住民アンケートの実施（延べ4地区）	○	○	○	✔		・他交通不便地域へ導入しやすくするための記載方法を検討する。
			・地域公共交通利用促進活動補助金の活用促進	・星の花号コミュタク委員会及び立花Go!コミュタク委員会で活用（令和元年度～継続中）	○	○	○	✔		・コミュタク委員会のみならず、広く周知して積極的な利用を促す必要がある。

観光周遊バス「歴バスのる～ら」令和5年度に廃止

伊豆の国市地域公共交通基本計画（平成26年～令和5年まで）

基本理念及び地域公共交通ネットワークの構築を踏まえて、基本方針の目標実現に向けての基本的な考え方、施策・具体的な方策を整理する。

基本理念

地域特性に合った持続可能な交通システムの実現を図り、
市民の快適な暮らしを確保する
～子ども達や高齢者が自ら快適に行動できるまちの実現を目指して～

基本方針	基本方針実現のための基本的な考え方
子どもの安全・安心の確保と子育てを支える公共交通	学校の統廃合により通学困難地域の児童・生徒の安全を確保し、安心して子育てできるよう、バス通学の支援を検討する。
高齢者等の自由な移動を支える公共交通	バス路線から離れている地区の利便性に配慮し、公共交通の仕組みを検討する。 高齢者等が気軽に外出し、社会参加できるような仕組みを検討する。
来訪者への情報提供と利便性の高い公共交通	来訪者にも分かりやすい親切な情報提供を検討する。 本市の主要な観光施設に公共交通で回遊できる仕組みを検討する。
市民の日常生活の移動を確保する公共交通	子どもや高齢者等の誰もが、公共交通を快適に使える仕組みを検討する。 利用の高い場所へ移動がしやすい仕組みを検討する。 公共交通の結節点の快適性・利便性の向上を検討する。
市民・交通事業者・行政の協働による公共交通の育成・支援	市民・交通事業者・行政が連携・協力した、地域公共交通を支える仕組みを検討する。

子どもの安全・安心の確保と子育てを支える公共交通

◆学校の統廃合により通学困難地域の児童・生徒の安全を確保し、安心して子育てできるよう、バス通学の支援を検討する

施策	1：学校統廃合による遠距離通学の児童・生徒の支援 ● 学校統廃合により、大仁小学校、韮山小学校へは特にバス通学が多くなっていることから、児童・生徒の安全と安心を確保する環境づくりを推進する。 ● 現在、自主運行バスや路線バスにより、バス通学を行っているが、学校行事や登下校時間の変動に融通が利く、スクールバスの導入・活用を検討する。
具体的な方策	1-1：遠距離通学の児童・生徒の安全性確保
	1-2：スクールバスの導入及び活用の研究

施策	2：学校統廃合による遠距離通学の児童・生徒の保護者の負担軽減 ● 子どもを安心して産み育てられる環境を整備するため、バス通学の児童・生徒の通学定期への補助等を行い、保護者の経済的な負担の軽減を図ることで、安心して子育てできる環境づくりを推進する。
具体的な方策	2-1：遠距離通学の児童・生徒の保護者へのバス定期券の補助等

高齢者等の自由な移動を支える公共交通

◆バス路線から離れている地区の利便性に配慮し、公共交通の仕組みを検討する

施策	3：高齢者が利用しやすい、公共交通の構築 ● 買い物、通院などの日常生活上の移動手段を確保するため、公共交通の構築を検討する。
具体的な方策	3-1：高齢者の生活スタイルに合わせた公共交通網、ダイヤ等の見直し

◆高齢者等が気軽に外出し、社会参加できるような仕組みを検討する

施策	4：高齢者等の社会参加の支援 ● 高齢者等が社会との関わりを持てるよう、生活圏の拡大及び社会参加を促進するため、高齢者の外出を支援する「福祉タクシー・バス・鉄道利用券」の内容を見直し、効果的な活用を図るとともに、将来的に持続可能な新たな交通体系の導入を検討する。
具体的な方策	4-1：福祉タクシー・バス・鉄道利用券の効果的な活用
	4-2：高齢者デマンド交通等の導入

来訪者への情報提供と利便性の高い公共交通

◆来訪者にも分かりやすい親切な情報提供を検討する

施策	5：来訪者への公共交通網の周知 ● 観光施設や交通手段等を示した観光マップの作成を進める。
具体的な方策	5-1：バス停がプロットされた観光マップ、運行ダイヤ、料金の掲載

◆本市の主要な観光施設に公共交通で回遊できる仕組みを検討する

施策	6：主要観光施設を回遊する公共交通 ● 観光交流の拡大を図るため、市内の主要な観光施設等を巡る公共交通の導入を検討する。
具体的な方策	6-1：観光を意識したバスルート（観光ルート）
	6-2：親しみのあるバスネーミング

市民の日常生活の移動を確保する公共交通

◆子どもや高齢者等の誰もが、公共交通を快適に使える仕組みを検討する

施策	7：公共交通の利用促進方策の推進 ● 公共交通の利用を図るため、分かりやすいバス路線図・時刻表の作成を進めるとともに、バスの乗り方の周知、車両や心のバリアフリー化等を推進する。
具体的な方策	7-1：バスの乗り方教室
	7-2：利用者の視点にたったバス路線図、時刻表の作成
	7-3：低床バス等の車両のバリアフリー化
	7-4：乗務員のもてなしの意識の醸成

◆利用の高い場所へ移動がしやすい仕組みを検討する

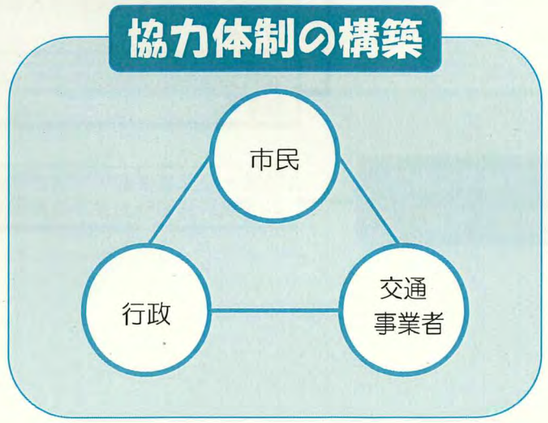
施策	8：市民のライフスタイルに合わせた公共交通網の構築 ● 通勤・通学、買い物など日常生活の行動にあわせた、利用しやすい公共交通網の検討及び公共交通空白地域の解消について検討を進める。
具体的な方策	8-1：バス路線の再編
	8-2：朝、夕の増便・昼間における適切なダイヤ

◆公共交通の結節点の快適性・利便性の向上を検討する

施策	9：公共交通の結節点の整備 ● 公共交通の快適性を向上するため、公共交通の結節点となる駅及び駅前広場の整備とバス停の整備を進めることで、公共交通を利用しやすい環境づくりを進める。
具体的な方策	9-1：駅前広場の整備（待合スペース、分かりやすいバスバースなど）
	9-2：バス停の高機能化（バスロケーションシステム、防風ガラス付き待合室など）

施策	10：公共交通の連携 ● 鉄道とバスなど、乗り継ぎの利便性を確保し、待ち時間等を少なくすることで、公共交通の利用促進を図る。
具体的な方策	10-1：鉄道とバスが接続できるダイヤの見直し（シームレス）

市民・交通事業者・行政の協働による公共交通の育成・支援

◆市民・交通事業者・行政が連携・協力した地域公共交通を支える仕組みを検討する

施策	11：公共交通を支える仕組みづくり ● 地域公共交通の維持・利用促進を交通事業者・行政で考えるのではなく、実際の利用者である市民が、地域公共交通のあり方を検討することで、より良い公共交通になると考えられるため、地域が主体となった公共交通システムを支援する。
具体的な方策	11-1：立花台区及び星和区の取組みへの支援